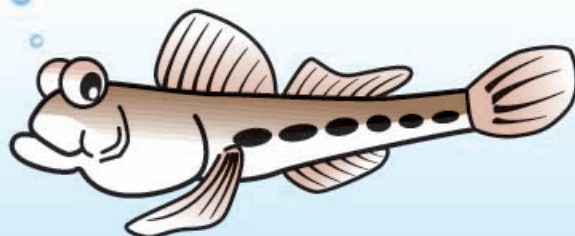




# 魚からみた とくしまの川



徳島市

## ●はじめに

徳島市には、吉野川をはじめ、勝浦川や新町川・助任川など数多くの河川が流れており、豊かで美しい「水」に囲まれています。

私たちにとって、これらの河川は、水と親しみ、ふれあえる場所であるとともに、多くの生き物にとっても生息・生育の場として重要な場所となっています。

今ある環境をより良いものとして、将来に引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが日常生活の中で常に環境に配慮した行動に取り組むことが必要です。

このパンフレットは、市民の皆さんに、魚を通じて徳島の水環境に関心をもってもらい、環境保全のために今、できることから取り組んでもらうことを目的として、過去の調査結果をまとめたものです。

## 1 徳島市にはどんな魚がいるの？



### 何種類いるの？

徳島市内ではこれまでに71科236種の魚が確認されています。

純淡水魚  
61種

汽水・海水魚  
134種

回遊魚  
18種

計236種



※どんな生活をしているかはっきりしない魚が23種います。

### どんな魚がいるの？



#### 【純淡水魚】

一生を川や湖・池などの淡水（塩分を含まない水）域で生活する魚です。代表的な魚はコイやギンブナ、メダカなどです。徳島市内では、鮎喰川や園瀬川の中流域などで生息が確認されています。

#### 【汽水・海水魚】

汽水（海水と淡水が混じった水）域や海で生活する魚です。代表的な魚としてはスズキやクロダイ、ボラなどです。徳島市内の中心市街地を流れる河川、新町川や助任川などで生息が確認されています。

#### 【回遊魚】

一生の間に海と淡水域の間を移動する魚です。「淡水域で生まれ、海で成長した後、産卵のために淡水域に戻る魚」や「海で生まれ、淡水域で成長した後、産卵のために海へ戻る魚」がいます。代表的な魚はアユやウナギなどです。

#### 【外来魚】（参考）

食料にすることなどを目的に国外から持ち込まれた魚です。この魚は、もともと国内に住んでいた魚を食べたり、その生息場所を奪ったりすることで問題があるとされています。代表的な魚にはオオクチバス（ブラックバス）があり、市内では、今切川や多々羅川などで生息が確認されています。

### 徳島市内の魚の特徴は？

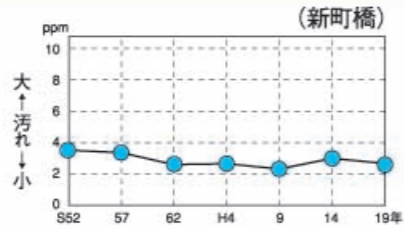


徳島市内は、汽水域が占める割合が多く、また吉野川や勝浦川の河口にまとまった規模の干潟があるため、ハゼ科の魚が多いという特徴があります。また、淡水域では吉野川などの大きな河川やその周辺に用水路が多数あるなど比較的良好な河川環境が保たれているため、コイ科の魚も非常に多く確認されています。

# 2 魚類生息マップ

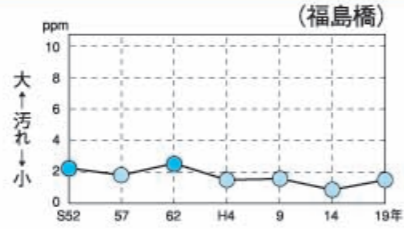
## 【新町川】

その昔、水がきれいで、シジミ採りができたこともありました。その後、生活排水や工場排水などによって魚が住めなくなるくらい汚れていましたが、水はきれいになり、多くの魚を見ることができます。



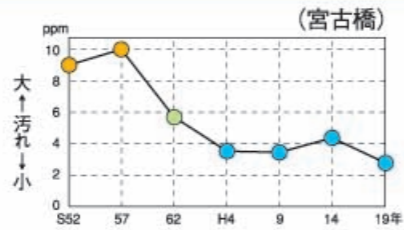
## 【助任川】

新町川から三ツ合橋で分かれ、城山の北のふもとを流れています。新町川と同じように、良好な水質となっています。



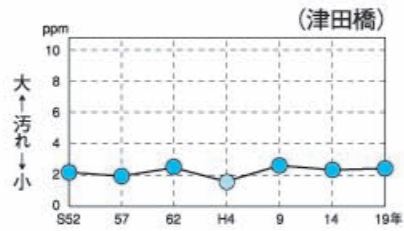
## 【田宮川】

上流部には、かんがい用に作られた袋井用水があります。生活排水による汚れが目立っていましたが、徐々に改善されてきました。



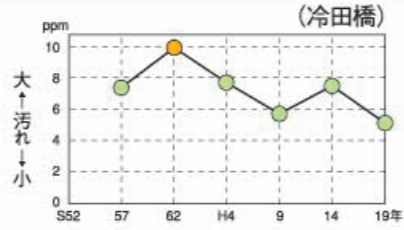
## 【園瀬川】

昔あった金剛光寺の園内に川の水が引き込まれていたことから、この名がついたそうです。水質は良好で、淡水魚から汽水・海水魚まで多くの魚をみることができます。



## 【冷田川】

園瀬川から分かれ、八万地区を流れる川です。住宅が集中しているため、生活排水による汚れが目立っていましたが、徐々に改善されています。

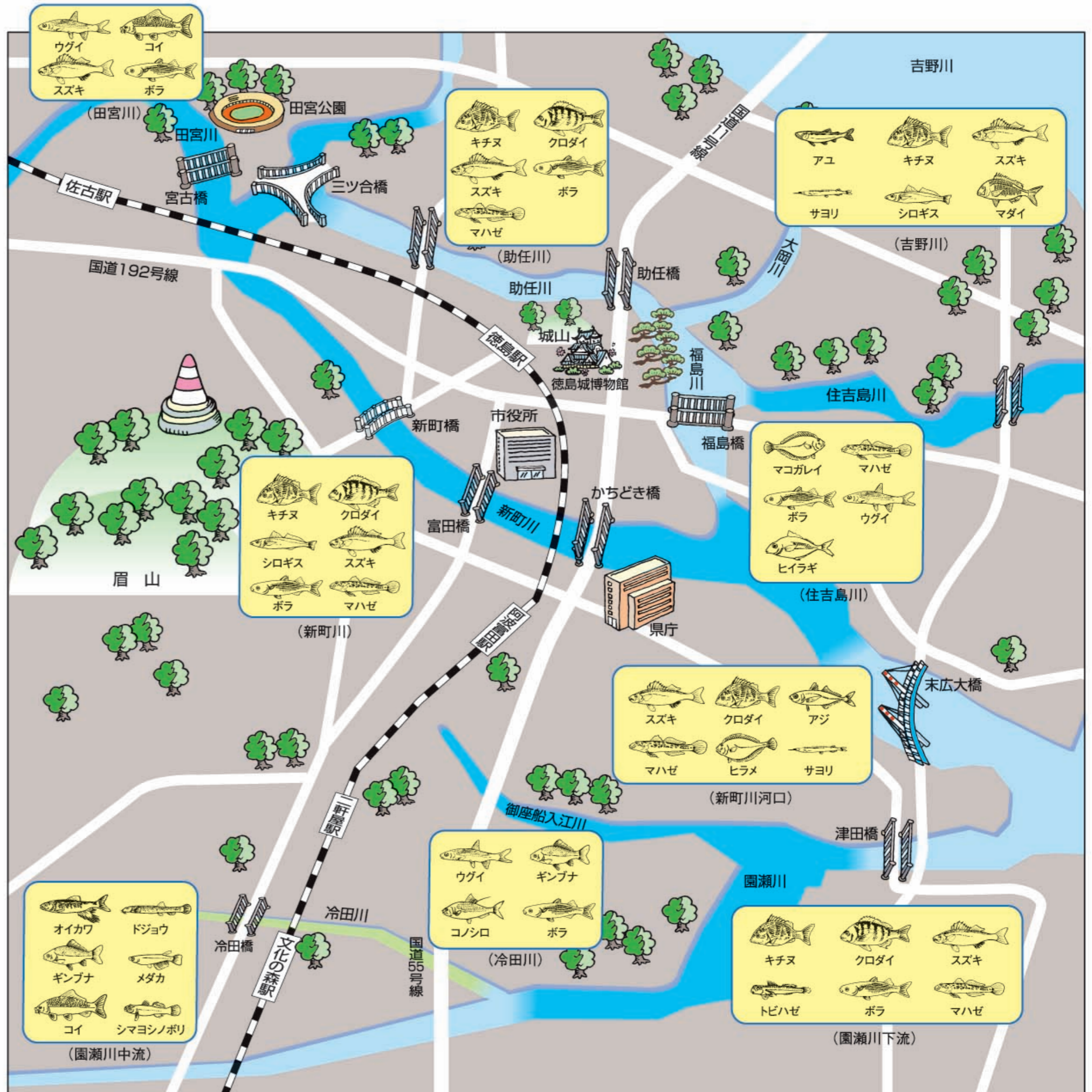


### 川の色の説明



区分 大変きれい きれい2 少し汚れている 汚れている  
BOD 2ppm未満 2~5ppm 5~8ppm 8~10ppm

※BODは、水中の有機物などが微生物により酸化・分解される際に消費される酸素量のことで、水の汚れを表す代表的な指標であり、数値が大きくなるほど水が汚れています。コイやフナなどの魚が住むためには、BOD5ppm以下の水質が必要といわれています。  
※河川の水質は平成19年度の測定結果(BOD年平均値)



※マップの魚は、これまでにその河川で確認された代表的な魚を紹介しています。

### 3 市内で確認された代表的な魚



**メダカ** (学名) *Oryzias latipes latipes*

全長:2~4cm エサ:プランクトンなど

生息確認河川  
吉野川、今切川、鮎喰川、園瀬川、多々羅川、勝浦川ほか

春から秋にかけて、一度に5~40個くらいの卵を水草に産み付けます。5日~10日くらいで卵からかえり、半年くらいで親になります。寿命は1年程です。環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。(純淡水魚)



**ギンブナ** (学名) *Carassius gibelio langsdorfi*

全長:25cm エサ:底生動物、プランクトンなど

生息確認河川  
鮎喰川、勝浦川、園瀬川、田宮川、冷田川ほか

川の下流のよどみや支流の合流点に近い水域、平地の低湿地帯や沼地に生息します。産卵期は4~6月で水草が繁茂している浅い場所、水面に浮いた水草の茎や葉に産み付けます。寿命は5年以上。(純淡水魚)



**キチヌ** (学名) *Acanthopagrus latus*

全長:45cm エサ:ゴカイ、小型貝類

生息確認河川  
吉野川、新町川、助任川、沖洲川、住吉島川、園瀬川ほか

腹びれ、尻びれ、尾びれが黄色になっています。クロダイと同じく、小さいうちはすべて雌雄同体で雄として振る舞いますが、成長するうちに雌に性転換しています。河口域や内湾でよく見られます。(汽水・海水魚)



**ボラ** (学名) *Mugil cephalus cephalus*

全長:80cm エサ:泥底の有機物など

生息確認河川  
吉野川、今切川、鮎喰川、新町川、助任川、田宮川、勝浦川など

普段は沿岸域ですんでいますが、産卵は外海ですと考えられています。性質がすぶる活発で、表層を泳ぎ、よく水面に飛び上がります。30cmくらいまでをイナ、それ以上をボラと呼び、もっと大きくなったものをトドといいます。(汽水・海水魚)



**オイカワ** (学名) *Zacco platypus*

全長:15cm エサ:プランクトン、水生昆虫など

生息確認河川  
今切川、鮎喰川、園瀬川、多々羅川、勝浦川ほか

河川では流れの速い瀬や淵の両方にすんでいます。流れのある広い場所を好みます。冬は深みや水際の植物の近くに移動します。(純淡水魚)



**ドジョウ** (学名) *Misgurnus anguillicaudatus*

全長:12cm エサ:泥中の有機物、底生動物

生息確認河川  
今切川、鮎喰川、園瀬川、大松川、勝浦川ほか

水田や湿地、またその周辺の用水路などにすんでいます。産卵期は6月~7月で夜間に産卵します。(純淡水魚)



**スズキ** (学名) *Lateolabrax japonicus*

全長:100cm エサ:カニ、エビ、小魚

生息確認河川  
吉野川、新町川、助任川、園瀬川、沖洲川、勝浦川ほか

海岸付近にすみ、大きい川では潮入りのところよりも上流に上がります。秋~冬に、外海に面した岩浜付近で産卵します。ミズセーセイゴ→ハネ→スズキと、大きくなるにつれ呼び名が変わります。(汽水・海水魚)



**ウナギ** (学名) *Anguilla japonica*

全長:90cm エサ:小魚、エビなど

生息確認河川  
鮎喰川、新町川、沖洲川、園瀬川ほか

2月~5月の夜、10cmくらいのシラスウナギが群れを作って川を上がってきます。ウナギのうろこは皮ふの下に埋まっているので、外からはうろこがないよう見えます。(回遊魚)



**トビハゼ** (学名) *Periophthalmus modestus*

全長:10cm エサ:小動物

生息確認河川  
吉野川、勝浦川、園瀬川ほか

泥底の干潟が発達した河口域にすんでいます。活動期(4~10月)は干潮時に泥面で餌を探るため、よく見ることができますが、休止期(11~3月)は巣穴に入り餌を探りません。環境省のレッドリストでは準絶滅危惧に指定されています。(汽水・海水魚)



**マハゼ** (学名) *Acanthogobius flavimanus*

全長:20cm エサ:ゴカイ、エビなど

生息確認河川  
吉野川、新町川、助任川、園瀬川、沖洲川、勝浦川ほか

内湾・河口の砂泥地にすんでいます。産卵期は春で、底に穴を掘り産卵します。(汽水・海水魚)



**シマヨシノボリ** (学名) *Rhinogobius sp.CB*

全長:7cm エサ:付着藻類、水生昆虫

生息確認河川  
鮎喰川、園瀬川、勝浦川ほか

川の中流域を中心にすんでいます。川で生まれた後、海へ降って成長し、また川に戻ってきます。(回遊魚)



**オオクチバス** (学名) *Micropterus salmoides salmoides*

全長:50cm エサ:魚、エビなど

生息確認河川  
今切川、園瀬川、多々羅川ほか

ブラックバスとも呼ばれ、海外から持ち込まれた魚です。ルアーフィッシングの対象となっていますが、もともとその場所にすんでいた魚を食べたり、すみ場所を奪ったりするなど問題になっています。(純淡水魚)(外来魚)

# 4 たくさんの魚が住めるきれいな川を 守っていくために

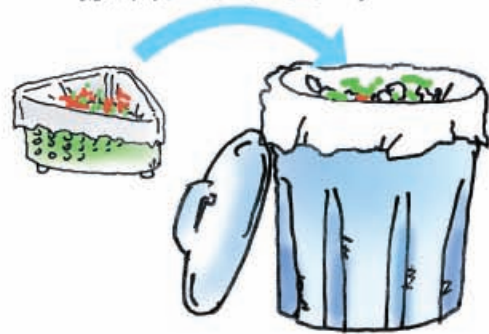
こんなことに取り組みましょう



- 食べられる量・飲める量を考えよう。  
(残したらもったいないよ!)



- 調理くずを回収しよう。  
(肥料にもなるよ!)



- お皿や食器の汚れをふきとろう。  
(油は特に気をつけて!)



- 石けん・洗剤は正しく使おう。  
(使いすぎないで!)



- 溝や川の回りの掃除を手伝う。  
(汚れやごみはたまります!)



- ごみは分別してごみ箱へ。  
(ポイ捨てはしないで!)

